

塩田さん(下妻二高)最優秀賞

新聞コンクール県内審査



家族や友人と新聞記事を読み、話し合った感想を応募する日本新聞協会主催の「第14回いっしょに読も

う！新聞コンクール」の県内審査が行われ、最優秀賞に県立下妻二高2年の塩田なつみさんが選ばれた。県NIE推進協議会(会長・藤井千春早稲田大教授)が18日、発表した。



本県独自表彰で最優秀賞に選ばれた県立下妻二高2年の塩田なつみさん

塩田さんは8月22日の朝日新聞に掲載された「自分の部屋から『メタバース登校』」の記事を読み、母親の意見を聞きながら、「いま自分に行けることは、不登校の児童生徒を支援する活動があることを『知る』こと。つらい思いをしている子どもたちを手助けでき

たら」と記した。

塩田さんは小学5年生の時、起立性調節障害と診断され、学校に行けない日々が続いた経験があり、「その時は学校に行くか、行かないか、の選択しかなかった。いまは記事にあるように他の選択肢も増えてきている。共感できたのでこの記事を選んだ」と、受賞の喜びを語った。

協議会は学校で新聞を活用するNIEを推進しようと、新聞・通信各社、県教育委員会などで組織。前回のコンクールから、県内審査通過者全員を独自に表彰している。県内の小中高校生らから1375点の応募があり、最優秀のほか優秀賞19点、優良賞35点を選出し、計55人を表彰した。

全国審査の結果は12月11日に発表予定。(澤畑和宏)本県表彰の優秀賞受賞者は次の通り。(敬称略)

◇優秀賞 七川翔(茨城大付属

小2年)久保田梨菜(つくば市立学園の森義務教育学校4年)江森ひかり(茨城キリスト教学園中2年)松本陽色(県立勝田中等教育学校1年)笹島愛理(同)山田里奈(江戸川学園取手中1年)和多愛華(同)辻村優芽(第一学院高 高萩校3年)イワモトレイラ美咲

(県立下館二高3年)永井愛海(同)遠藤未香(常総学院高2年)推名美里(同)長谷川心咲(同)石塚萌檜(同)稲見椿(県立下妻二高2年)山本紗綾(同)桜田万里亜(県立取手二高2年)木田麻理香(同1年)風間祐人(県立協和特別支援学校高等部2年)